Pioneer DJ

DJ コントローラー

DDJ-SB2

serato || serato DJ INTRO

http://pioneerdj.com/support/

上記のPioneer DJサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

http://serato.com/

最新版のSerato DJ IntroソフトウェアはSerato.comにアクセスしてダウンロードしてください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  この冊子と「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」は、どちらも必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
  Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルの入手方法については、「マニュアルを入手する」(p.21) をご覧ください。
- 本書では、製品本体およびコンピューター画面に表示される画面名、メニュー名、ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例：[**▶/II**] ボタン、[**Files**] パネル、[**MASTER OUT**] 端子)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザーの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ Intro ソフトウェアの操作については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルは、「Serato.com」からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.21) をご覧ください。
- 最新版の取扱説明書 (本書) は、Pioneer DJ サイトからダウンロードできます。詳細については、「最新版の取扱説明書を閲覧する」(p.21) をご覧ください。

❶ はじめに

本機の特長 3
付属品を確認する 3
ソフトウェアをインストールする 3
ドライバーソフトウェアについて (Windows) 6

❷ 接続および各部の名称

接続する 7
各部の名前とはたらき 7

❸ 操作する (基本編)

接続する 11
システムを起動する 12
システムを終了する 14

❹ 操作する (応用編)

パッドを使う 15
エフェクトを使う 16
フィルターフェードを使う 17
パッドトランスを使う 18
マイクの音声をミックスする 18
曲を解析する 18

❺ ユーティリティーモード

ユーティリティーモードを起動する 19
設定を変更する 19

❻ その他

故障かな？と思ったら 20
マニュアルを入手する 21
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する 21
保証とアフターサービス 22
商標および登録商標について 23
著作権についてのご注意 23

はじめに

本機の特長

本機は、Serato Audio Research 社製 DJ ソフトウェア「Serato DJ Intro」専用のオールインワン DJ コントローラーです。
「BIG JOG」、「PERFORMANCE PADS」などの各操作インターフェイスを、余裕をもって配置しており、「Serato DJ Intro」を使った個性的な DJ パフォーマンスが可能です。
また、サウンドカード (オーディオインターフェイス) を内蔵しているので、複雑な配線や設定は不要で、すぐに DJ プレイを始められます。

BIG JOG

スムーズな操作性の大型 JOG を搭載しています。アナログターンテーブル感覚でスクラッチ演奏をお楽しみいただけます。

PERFORMANCE PADS

「Serato DJ Intro」に搭載されている「HOT CUE」、「LOOP」および「SAMPLER」などの機能や、基本機能である [**CUE** (⏮)] ボタンや [▶/⏸] ボタンをたたくおよび連打する等のダイナミックなアクションで操作できる、大型の「パッド」を搭載しています。
また、パッドの素材にラバーを採用しているので、長時間のプレイでも疲れず操作できます。

デザイン

大型の筐体に、DJ に必要な操作インターフェイスを、余裕を持って配置しています。ジョグプレートにはアルミ素材、樹脂パネル天面にはヘアライン処理を施すことで高級感のあるデザインに仕上げています。

FILTER FADE

クロスフェーダーとハイパスフィルターを組み合わせた「FILTER FADE」機能を搭載しています。これにより、どんな楽曲同士でも自然にミックスできます。

TRANS

パッドを押し続けることで、楽曲の音を BPM に連動したリズムで自動的にカットする「TRANS」機能を搭載しています。スクラッチ演奏などと組み合わせることで、個性的な楽曲アレンジが可能になります。

Serato DJ Intro

DJ プレイに必要な基本機能を搭載した DJ ソフトウェア「Serato DJ Intro」をサポートしています。本機のすべてのボタンやツマミは、あらかじめソフトウェアと連動するよう設定されていますので、本機をコンピューターにつなぐだけで、すぐに DJ プレイを楽しめます。
また、「SLIP MODE」、iZotope 社製エフェクトおよびレコーディング機能など、さまざまな機能を搭載した「Serato DJ」にアップグレードができます。
iZotope 社は米国のオーディオ技術開発メーカーです。

サウンドカード (オーディオインターフェイス) 内蔵

高品位のサウンドカード (オーディオインターフェイス) を内蔵しているので、複雑な配線や設定は不要で、すぐに DJ プレイを始められます。

USB バスパワー

USB バスパワーに対応しています。USB ケーブルで本機とコンピューターをつなぐだけで使うことができます。

HIGH SOUND QUALITY

Pioneer DJ 製 DJ ハードウェアで培った音質技術を継承し、クラス最高レベルの音質を実現しています。

付属品を確認する

- USB ケーブル
- 保証書 (一部の地域)[1]
- 取扱説明書 (クイックスタートガイド)

[1] 同梱されている保証書は欧州地域が対象です。
  — 北米地域は「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」の英語、フランス語それぞれの最終ページに該当内容が記載されています。
  — 日本地域は「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」の裏表紙に該当内容が記載されています。

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする前に

最新版の Serato DJ Intro ソフトウェアは Serato.com にアクセスしてダウンロードしてください。
- 詳細は「インストール手順 (Windows)」または「インストール手順 (Mac (OS X))」を参照してください。
- インターネットの接続に必要なコンピューター、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

ドライバーソフトウェアについて (Windows)

本ドライバーソフトウェアは、コンピューターからの音声を、本機のオーディオ端子から出力するための本機専用の ASIO ドライバーです。
- Mac (OS X) をお使いのときは、ドライバーソフトウェアをインストールする必要はありません。

ドライバーソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバーソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サイトを参照してください。
http://www.pioneerdj.com/

Serato DJ Intro ソフトウェアについて

Serato DJ Intro は Serato 社製の DJ ソフトウェアです。このソフトウェアをインストールしたコンピューターと本機を接続して DJ プレイを楽しむことができます。

最低動作環境

対応 OS	CPU および必要メモリー
Mac: OS X v 10.10、10.9、10.8	Intel® プロセッサ、Core™ Duo 1.6 GHz 以上 Intel® プロセッサ、Core™ i3、i5 および i7
	1 GB 以上の RAM
Windows: Windows 8.1/8、Windows 7 (SP1)	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.0 GHz 以上 Intel® プロセッサ、Core™ i3、i5 および i7
	1 GB 以上の RAM

その他	
USB ポート	コンピューターと本機を接続するために USB 2.0 ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1 024 x 768 以上の解像度
インターネット接続	「Serato.com」のユーザーアカウントの登録やソフトウェアのダウンロードのため、インターネット接続環境が必要です。

- 最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、Serato サイトにアクセスしご確認ください。
  http://serato.com/
- OS は最新のバージョン、サービスパックをお使いください。
- 記載の動作環境を満たしているすべてのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。
- コンピューターの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピューターをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで Serato DJ Intro をお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

インストール手順について

お客様がお使いになるコンピューターのオペレーティングシステム (OS) により、インストールの手順が異なります。

Windows のとき

ドライバーソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJ Intro ソフトウェアのインストールを行ってください。

Mac (OS X) のとき

Serato DJ Intro ソフトウェアのインストールのみ行ってください。

インストール手順 (Windows)

インストール開始から完了までの間は、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。
- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 Pioneer DJ サイトにアクセスする

http://www.pioneerdj.com/

- 画面を日本語表示に切り換えるには、画面を下にスクロールさせ、画面右下の［**EN**］の表示をクリックし、［**JA**］を選択してください。

2 [Support] アイコンをクリックする

3 [ソフトウェア＆ファームウェアのアップデート] アイコンをクリックする

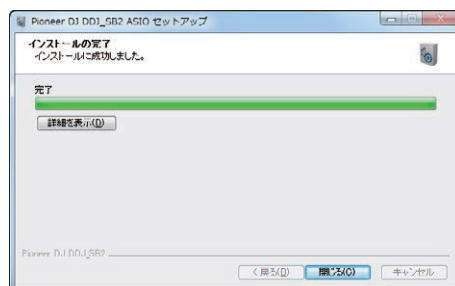
4 [CONTROLLER] カテゴリー内の [DDJ-SB2] アイコンをクリックする

5 [Drivers] アイコンをクリックする

6 [ダウンロードリンク] アイコンをクリックし、ファイルを保存する

7 ダウンロードが完了したら、[Pioneer_DJ_DDJ_SB2_Driver_x.xxx.exe] アイコンをダブルクリックする

8 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [**Windows セキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。
インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。
以下の画面が表示したらインストール完了です。([**閉じる**] をクリックしてください。)

ドライバーソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJ Intro ソフトウェアのインストールを行ってください。

9 Serato サイトにアクセスする

http://serato.com/

10 [DJ PRODUCTS] の [Serato DJ Intro] アイコンをクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページが表示されます。

- ダウンロードページは、予告なく変更される場合があります。

11 [Download SERATO DJ INTRO] アイコンをクリックする

12「Serato.com」のアカウントを作成する

- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は、手順 14 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  — 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
  — [**E-mail me Serato newsletters**] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報を入手できます。
  — ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

13「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページに進みます。手順 15 にお進みください。

14 ログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

15 ご使用する機種の [DDJ-SB2] にチェックを入れ、[Continue] アイコンをクリックし、ファイルを保存する

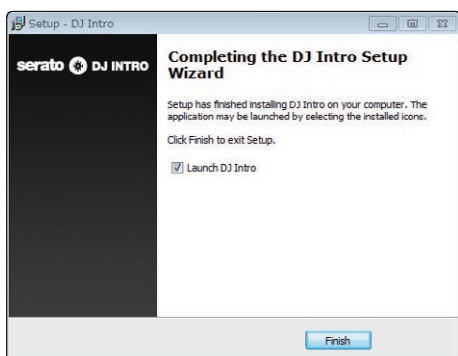
16 [Download Serato DJ Intro] アイコンをクリックする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

17 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [I accept the agreement] を選択し、[Next] をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[**Cancel**] をクリックしてインストールを中止してください。

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

18 [Finish] をクリックして Serato DJ Intro インストーラーを終了させる

以上でインストールは完了です。

インストール手順 (Mac (OS X))

インストール開始から完了までの間は、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 Serato サイトにアクセスする

http://serato.com/

2 [DJ PRODUCTS] の [Serato DJ Intro] アイコンをクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページが表示されます。

- ダウンロードページは、予告なく変更される場合があります。

3 [Download SERATO DJ INTRO] アイコンをクリックする

4 「Serato.com」のアカウントを作成する

- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は、手順 6 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  — 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
  — [**E-mail me Serato newsletters**] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報を入手できます。
  — ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

5 「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページに進みます。手順 7 にお進みください。

6 ログインする

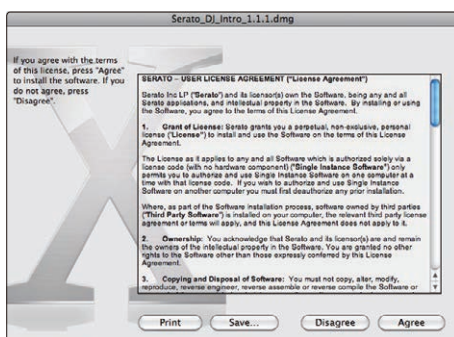
登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

7 ご使用する機種の [DDJ-SB2] にチェックを入れ、[Continue] アイコンをクリックし、ファイルを保存する

8 [Download Serato DJ Intro] アイコンをクリックする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

9 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [Agree] をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [**Disagree**] をクリックしてインストールを中止してください。

10 下記の画面が表示されたら、[Serato DJ Intro] アイコンを [Applications] フォルダーアイコンにドラッグアンドドロップする

ドライバーソフトウェアについて(Windows)

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

ASIO 設定ユーティリティーソフトウェアを使う

この機能は OS に Windows をお使いのお客様のみご利用いただけます。

❖ ASIO 設定ユーティリティーソフトウェアを起動する

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ_SB2]>[DDJ_SB2 ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする

- Windows 8.1/8 の場合、[**スタート**] 画面から [**DDJ_SB2 ASIO 設定ユーティリティ**] をクリックしてください。

❖ バッファーサイズを調整する

Serato DJ Intro ソフトウェアのバッファーサイズの設定と同じように、[**カーネルバッファ数**] の設定値は値を小さくすると音声データの伝送遅延 (レイテンシー) が小さくなり、大きくすると音声データの脱落 (音とぎれ) が発生しにくくなります。
バッファーサイズは、Serato DJ Intro ソフトウェアの [**SETUP**] メニュー内の [**USB BUFFER SIZE (LATENCY)**] での設定値が優先されます (デフォルト設定は 512 samples/10 ms になっています)。

- DJ ソフトウェア側の設定方法の詳細については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- [**バッファサイズ**] または [**カーネルバッファ数**] の数値を大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

❖ デフォルト設定で音切れが発生している場合

1 [DDJ_SB2 ASIO 設定ユーティリティ] を起動して [カーネルバッファ数] を [4] に変更する

2 Serato DJ Intro ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファーサイズに設定する

❖ デフォルト設定で音切れが発生していない場合

1 Serato DJ Intro ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファーサイズに設定する

2 [DDJ_SB2 ASIO 設定ユーティリティ] を起動して [カーネルバッファ数] を [2] に変更し、音切れが発生していないかを確認する

3 音切れが発生しない場合は Serato DJ Intro ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファーサイズに設定し、音切れが発生した場合は [DDJ_SB2 ASIO 設定ユーティリティ] の [カーネルバッファ数] を [3] に変更します

ドライバーソフトウェアのバージョンを確認する

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ_SB2]>[DDJ_SB2 バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

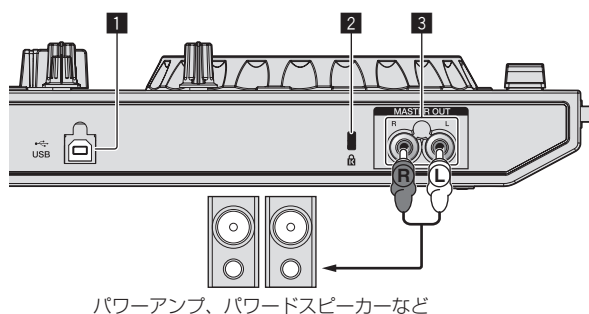
- Windows 8.1/8 の場合、[**スタート**] 画面から [**DDJ_SB2 バージョン表示ユーティリティ**] をクリックしてください。
- この画面では、本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピューターに接続されていないとき、または本機とコンピューターが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

接続および各部の名称

接続する

機器の接続や変更は、必ず USB ケーブルを抜いてから行ってください。
USB ケーブルは必ず本製品に付属のものをお使いください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機は USB バスパワーで電源が供給されます。USB ケーブルで本機とコンピューターを接続するだけで使用できます。
- 本機を接続するコンピューターは、AC 電源に接続してください。
- USB ハブは使えません。
- 以下のような場合は、電源が不足して本機が USB バスパワーで動作しないことがあります。
  — コンピューター本体の USB ポートの電源供給能力が不足している。
  — コンピューターに他の USB 機器を接続している。
  — インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンを接続している。
  — [**HEADPHONES**] 端子 (1/4” TRS Jack) と [**HEADPHONES**] 端子 (3.5 mm stereo mini Jack) の両方にヘッドホンを同時に接続している。
  — [**HEADPHONES**] 端子にモノラルジャックを接続している。

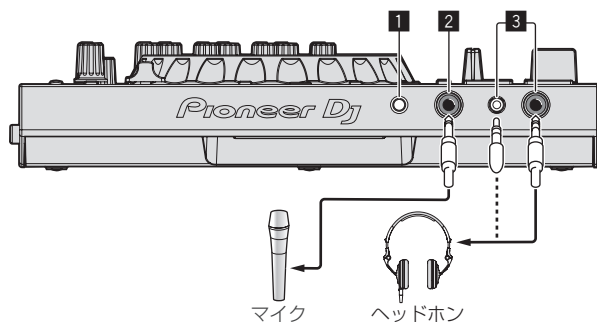
本体背面部

パワーアンプ、パワードスピーカーなど

1 USB 端子
コンピューターと接続します。
- 本機とコンピューターは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

2 ケンジントンロック装着用穴

3 MASTER OUT 端子
パワーアンプやパワードスピーカーなどを接続します。
- RCA ピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

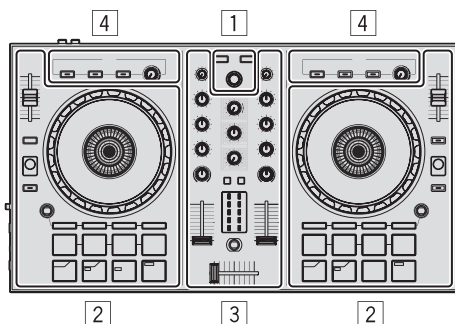
本体側面部

マイク　　ヘッドホン

1 MIC LEVEL ツマミ
[**MIC**] 端子 (1/4” TS Jack) に入力される音声レベルを調整します。

2 MIC 端子 (1/4” TS Jack)
マイクを接続します。
アンバランス入力のみ対応しています。

3 HEADPHONES 端子
ヘッドホンを接続します。
2 つの [**HEADPHONES**] 端子は、それぞれ 1/4” TRS Jack と 3.5 mm stereo mini Jack に対応しています。
- [**HEADPHONES**] 端子 (1/4” TRS Jack) と [**HEADPHONES**] 端子 (3.5 mm stereo mini Jack) の 2 つの入力端子がありますが、同時の使用はサポートされていません。端子を抜き差しする際に、もう片方の音量が急に増減する場合があります。

各部の名前とはたらき

ここで紹介する各部のはたらきは、Serato DJ Intro の機能を基本としています。
Serato DJ にアップグレードした際に使える機能の説明文には、**Serato DJ** を添えています。
機能の詳細については、下記の Pioneer DJ サイトでご確認ください。
http://www.pioneerdj.com/

1 **ブラウザー部**

2 **デッキ部**

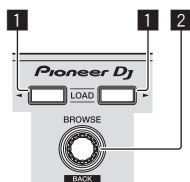
3 **ミキサー部**

4 **エフェクト部**

ツマミの設定値について

下記のツマミなどの設定値は Serato DJ Intro ソフトウェア内部では、それぞれのデッキで個別に制御されています。
- **TRIM** ツマミ
- **EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**) ツマミ
- **FILTER** ツマミ
- チャンネルフェーダー
- **TEMPO** スライダー

デッキを切り換えた時に Serato DJ Intro で制御されている値と、本機のツマミやフェーダーの位置が異なっている場合、ツマミやフェーダーは Serato DJ Intro で制御されている値まで動かさないと操作できません。
- Serato DJ Intro のデッキ 3 と 4 の初期設定値は [**TRIM**] ツマミ、[**EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**)] ツマミ、[**FILTER**] ツマミがセンター位置、[**TEMPO**] スライダーが± 0.0%、チャンネルフェーダーは最小 (一番下) の位置になっています。

ブラウザー部

1 LOAD ボタン

押す：
選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。
- 再生しているデッキと反対側の [**LOAD**] ボタンを 2 回押すと、再生しているデッキの状態をそのまま反対側デッキにも反映します。(インスタントダブル)

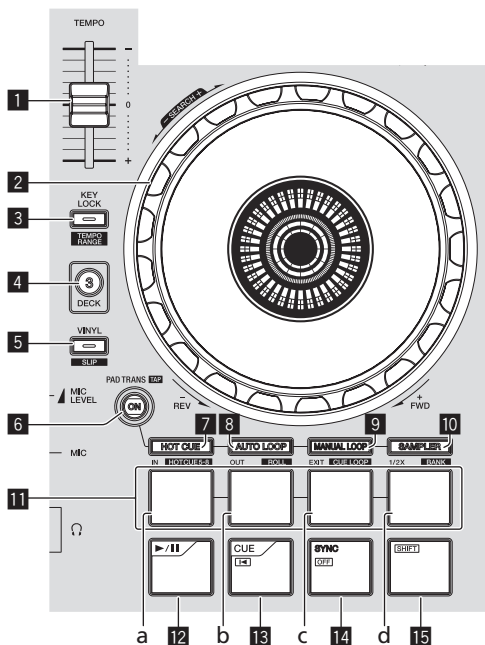
2 ロータリーセレクター (BACK)

回す：
ライブラリーパネルや [**crates**] パネルのカーソルが、上下に移動します。

押す：
カーソルが [**crates**] パネルかライブラリーパネルにある場合は、ロータリーセレクター (**BACK**) を押すたびに、[**crates**] パネルとライブラリーパネルの間でカーソルが移動します。
カーソルが [**Files**] パネルにある場合は、カーソルが下位階層へ移動します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
カーソル位置が、[**crates**] パネル内にあるときは、subcrates を開くか、または閉じます。
カーソル位置がライブラリーパネル内にあるときは、[**crates**] パネルへ移動します。
[**Files**] パネル内のカーソルが上位階層へ移動します。

デッキ部

4 つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ 1 およびデッキ 3、コントローラー右側にデッキ 2 およびデッキ 4 を操作するツマミやボタンがあります。

1 TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

2 ジョグダイヤル

天面を回す：
VINYL モードがオンのとき、スクラッチ操作ができます。
VINYL モードがオフのとき、ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。

外周部を回す：
ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。

[**SHIFT**] ＋ 天面を回す：
再生中に [**SHIFT**] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すと、スクラッチよりも高速に再生位置を移動できます。

3 KEY LOCK (TEMPO RANGE) ボタン

押す：
キーロック機能をオン / オフします。
キーロック機能がオンのとき、[**TEMPO**] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。
- 音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲が切り換わります。

→[**±8%**]→[**±16%**]→[**±50%**]

4 DECK 3 ボタン

押す：
操作するデッキを切り換えます。
デッキインジケーターが点灯しているときはデッキ 3 が選択されています。
右側デッキ部には、[**DECK 4**] ボタンがあります。

5 VINYL (SLIP) ボタン

VINYL モードをオン / オフします。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
Serato DJ
スリップモードをオン / オフします。

6 PAD TRANS (TAP) ボタン

押す：
パッドトランスモードをオン / オフします。
➲ 「パッドトランスを使う」(p.18)

[**SHIFT**] ＋ 押す：
パッドトランスモードが動作する拍を手動で設定できます。3 回以上押すと、押した間隔から拍を計算して設定されます。
➲ 「パッドトランスを使う」(p.18)

7 HOT CUE (HOTCUE5-8) モードボタン

押す：
ホットキューモードに設定します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
Serato DJ
ホットキュー 5-8 モードに設定します。

8 AUTO LOOP (ROLL) モードボタン

押す：
オートループモードに設定します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
Serato DJ
ロールモードに設定します。

9 MANUAL LOOP (CUE LOOP) モードボタン

押す：
マニュアルループモードに設定します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
Serato DJ
キューループモードに設定します。

10 SAMPLER (BANK) モードボタン

押す：
サンプラーモードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
Serato DJ
バンクモードに設定します。

11 パッド

a　パッド 1
b　パッド 2
c　パッド 3
d　パッド 4

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスを行うことができます。
➲ 「パッドを使う」(p.15)
➲ 「パッドトランスを使う」(p.18)

12 ▶/❚❚ ボタン

押す：
トラックを再生 / 一時停止します。

13 CUE（ ❙◀ ）ボタン

押す：
テンポラリーキューポイントを設定、再生、呼び出しします。
- 一時停止中に [**CUE** (❙◀)] ボタンを押すとテンポラリーキューポイントを設定します。
- 再生中に [**CUE** (❙◀)] ボタンを押すとテンポラリキューポイントに戻り、一時停止します。（バックキュー）
- テンポラリーキューポイントに戻ったあとに [**CUE** (❙◀)] ボタンを押し続けると、ボタンを押し続けている間、再生を続けます。（キューサンプラー）
- キューサンプラー中に [▶/❚❚] ボタンを押すとそのまま続けて再生します。

[**SHIFT**] + 押す：
ライブラリーパネルの中の 1 つ前のトラックをロードします。（プレビアストラック）
- 現在の再生位置がトラックの先頭でないときは、トラックの先頭に戻ります。

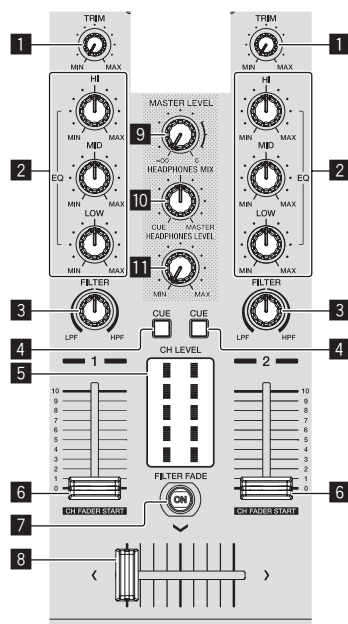
14 SYNC (OFF) ボタン

押す：
となりのデッキのトラックのテンポ（ピッチ）に自動で合わせることができます。

[**SHIFT**] + 押す：
SYNC を解除します。

15 SHIFT ボタン

[**SHIFT**] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能を呼び出せます。

ミキサー部

1 TRIM ツマミ

各チャンネル音量の大きさを調整します。

2 EQ (HI、MID、LOW) ツマミ

各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

3 FILTER ツマミ

各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけます。
ツマミがセンター位置のとき原音が出力されます。

左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。
右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

4 ヘッドホン CUE ボタン

押す：
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声がヘッドホンから出力されます。
- ヘッドホン [**CUE**] ボタンを再び押すと、モニターが解除されます。

5 チャンネルレベルインジケーター

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

6 チャンネルフェーダー

動かす：
各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[**SHIFT**] + 動かす：
Serato DJ
チャンネルフェーダースタート機能を使います。

7 FILTER FADE ON ボタン

フィルターフェード機能をオン / オフします。
➲ 「フィルターフェードを使う」(p.17)

8 クロスフェーダー

左右デッキの音声出力を切り換えます。

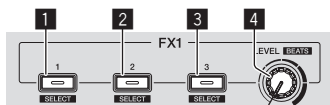
9 MASTER LEVEL ツマミ

マスター出力の音声レベルを調整します。

10 HEADPHONES MIX ツマミ
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声と、マスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

11 HEADPHONES LEVEL ツマミ
ヘッドホンから出力される音声レベルを調整します。

エフェクト部

2 つのエフェクトユニット (FX1 および FX2) をコントロールします。コントローラー左側に FX1、コントローラー右側に FX2 を操作するツマミやボタンがあります。

1 エフェクト 1 ボタン
エフェクトをオン / オフします。

[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

2 エフェクト 2 ボタン
エフェクトをオン / オフします。

[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

3 エフェクト 3 ボタン
エフェクトをオン / オフします。

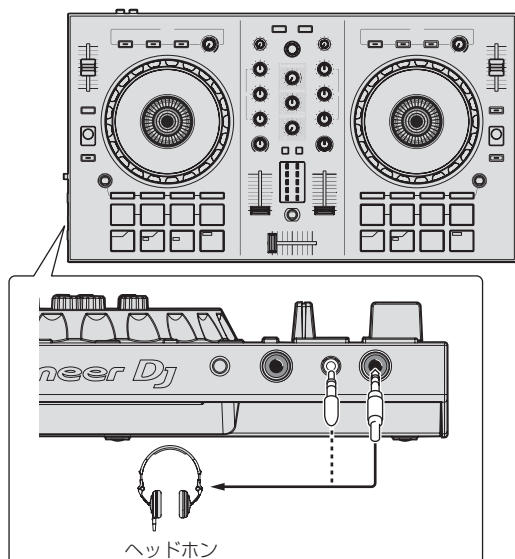
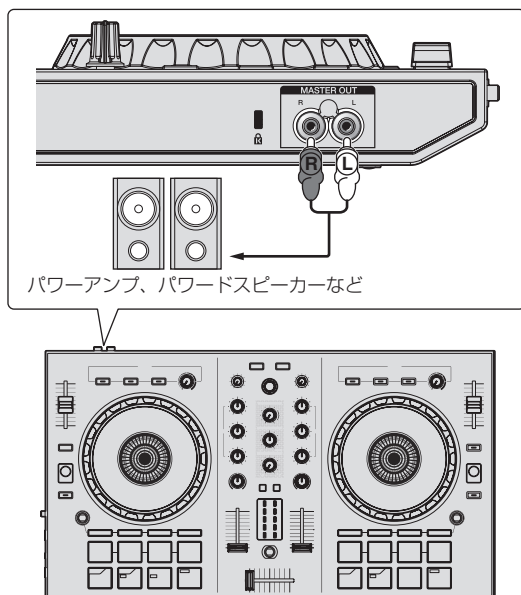
[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

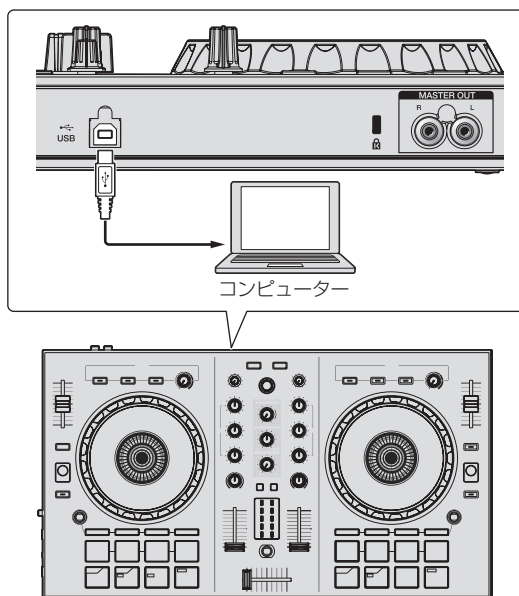
4 エフェクトレベルツマミ
エフェクトのパラメーターを調整します。
➲ 「エフェクトを使う」(p.16)

[**SHIFT**] + 回す：
エフェクト時間を調整します。

操作する (基本編)

接続する

1 どちらかの [HEADPHONES] 端子にヘッドホンを接続する

2 [MASTER OUT] 端子にパワーアンプやパワードスピーカーなどの機器を接続する

- 入出力端子の接続についての詳細は、「接続する」(p.7) を参照してください。

3 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

- Windows をお使いのお客様
  本機をはじめてコンピューターに接続したとき、またはコンピューターの USB 端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。

4 コンピューターの電源をオンにする

5 出力端子に接続された機器 (パワーアンプ、パワードスピーカーなど) の電源を入れる

- 入力端子にマイクを接続している場合は、マイクの電源も入れてください。

Serato DJ Intro を起動する

Windows 7 のとき

Windows の [**スタート**] メニューから、[**すべてのプログラム**] > [**Serato**] > [**DJ Intro**] > [**Serato DJ Intro**] のアイコンをクリックする

Windows 8.1/8 のとき

[**アプリビュー**] から、[**Serato DJ Intro**] のアイコンをクリックする

Mac (OS X) のとき

Finder で [**アプリケーション**] フォルダーを開いてから、[**Serato DJ Intro**] のアイコンをクリックする

Serato DJ Intro ソフトウェア起動直後のコンピューター画面

Serato DJ Intro ソフトウェアに楽曲をロードしたときのコンピューター画面

4 デッキ表示を行うためには、Serato DJ Intro 画面左上の [**4-Deck Vertical Display Mode**] アイコンをクリックしてください。

A デッキ部

ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPM などのトラック情報や全体波形などを表示します。

B ウェーブフォームディスプレイ

ロードされたトラックの波形を表示します。

C ブラウザー部

[**crates**] パネル内に crate を表示します。
ライブラリーパネル内に楽曲を表示します。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ Intro ソフトウェアの操作については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

楽曲をインポートする

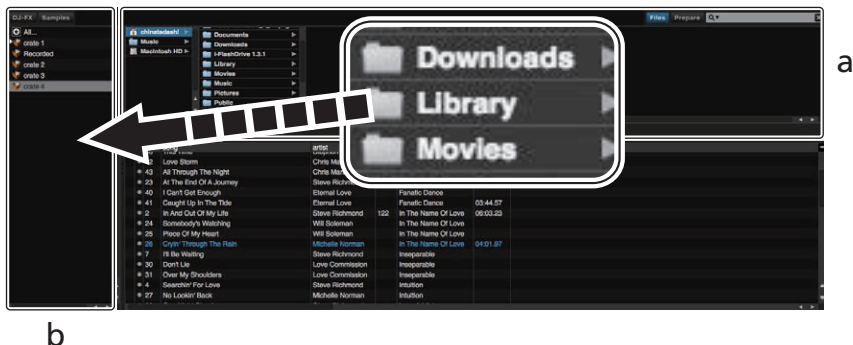
以下では、楽曲をインポートする代表的な操作方法について説明します。
- Serato DJ Intro ソフトウェアでは、さまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato 社の DJ ソフトウェア (Scratch Live、ITCH、Serato DJ) をお使いのお客様で、楽曲ライブラリーを作成されている場合は、以前作成した楽曲ライブラリーをそのまま使うことができます。

1 Serato DJ Intro ソフトウェア画面の [Files] アイコンをクリックして [Files] パネルを開く

お使いのコンピューターおよびコンピューターに接続されている周辺機器の中身が [**Files**] パネルに表示されます。

2 [Files] パネル内で、楽曲ライブラリーに加えたい楽曲が含まれているフォルダーをクリックして選択する

3 Serato DJ Intro ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダーを [crates] パネルにドラッグ & ドロップする

crate が作成され、ライブラリーパネル内に楽曲が追加されます。

a **Files** パネル
b **crates** パネル

曲を再生する

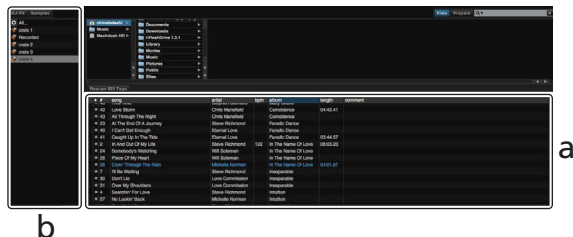
以下では、デッキ [**1**] にトラックをロードする方法を例にして説明します。

1 LOAD ボタン

2 ロータリーセレクター (BACK)

1 本機の [SHIFT] ボタンを押しながら、ロータリーセレクター (BACK) を押して、コンピューター画面の [crates] パネルにカーソルを移動させ、ロータリーセレクター (BACK) を回して、crate などを選ぶ

2 [Files] パネルを開いている場合は、[Files] アイコンをクリックして [Files] パネルを閉じる

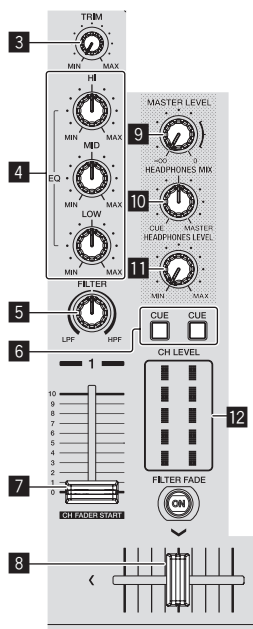
3 ロータリーセレクター (BACK) を押して、コンピューター画面のライブラリーパネルにカーソルを移動させ、ロータリーセレクター (BACK) を回して、トラックを選ぶ

a ライブラリーパネル
b **crates** パネル

4 [LOAD] ボタンを押して、選んでいるトラックをデッキにロードする

トラックを再生して音声を出力する

以下では、チャンネル 1 の音声を出力する方法を例にして説明します。

- [**MASTER OUT**] 端子に接続している機器 (パワーアンプ、パワードスピーカーなど) のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

ミキサー部

3 **TRIM** ツマミ

4 **EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**) ツマミ

5 **FILTER** ツマミ

6 ヘッドホン **CUE** ボタン

7 チャンネルフェーダー

8 クロスフェーダー

9 **MASTER LEVEL** ツマミ

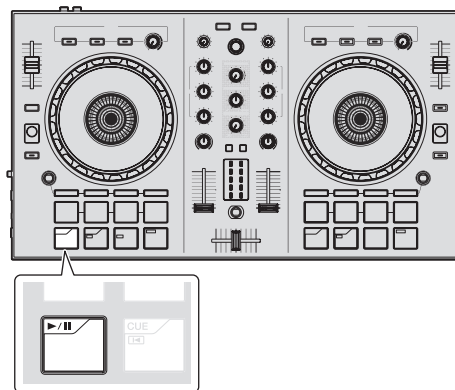
10 **HEADPHONES MIX** ツマミ

11 **HEADPHONES LEVEL** ツマミ

12 チャンネルレベルインジケーター

1 以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
TRIM ツマミ	左に回しきった位置
EQ (**HI**、**MID**、**LOW**) ツマミ	12 時の位置
FILTER ツマミ	12 時の位置
チャンネルフェーダー	最小 (一番下) の位置
MASTER LEVEL ツマミ	左に回しきった位置
クロスフェーダー	中央の位置

2 [▶/II] ボタンを押してトラックを再生する

3 [TRIM] ツマミを回す

チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターが、ピークレベルで点灯するように、[**TRIM**] ツマミを調整してください。

4 チャンネルフェーダーを最大まで上げる

5 [MASTER LEVEL] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[**MASTER OUT**] 端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

ヘッドホンで音声をモニターする

以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
HEADPHONES MIX ツマミ	12 時の位置
HEADPHONES LEVEL ツマミ	左に回しきった位置

1 チャンネル 1 のヘッドホン [CUE] ボタンを押す

2 [HEADPHONES LEVEL] ツマミを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

 メモ

本機と Serato DJ Intro ソフトウェアは、個性的な DJ プレイを可能にする多くの機能が搭載されています。それぞれの機能について、詳しくは取扱説明書および Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- 本機の取扱説明書は Pioneer DJ サイトからダウンロードできます。詳細については、「最新版の取扱説明書を閲覧する」(p.21) をご覧ください。
- Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルは、Serato.com からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.21) をご覧ください。

システムを終了する

1 Serato DJ Intro を終了する

ソフトウェアを閉じると、終了の確認のための画面がコンピューター上に表示されます。[**Yes**] をクリックして終了します。

2 USB ケーブルをコンピューターから抜く

操作する (応用編)

これ以降の操作説明の記載では、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルで説明されていない、本機と Serato DJ Intro を組み合わせたときの特有な機能について説明しています。

パッドを使う

DDJ-SB2 のパッドでは、４つのモードがあります。

パッドモード

「ホットキュー」、「オートループ」、「マニュアルループ」および「サンプラー」をコントロールします。
それぞれの機能はパッドモードボタン ([**HOT CUE (HOTCUE5-8)**] モードボタン、[**AUTO LOOP (ROLL)**] モードボタン、[**MANUAL LOOP (CUE LOOP)**] モードボタン、[**SAMPLER (BANK)**] モードボタン) で切り換えます。

ホットキューを使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

- ホットキューポイントは、１トラックにつき４か所まで設定および保存できます。

１ [HOT CUE (HOTCUE5-8)] モードボタンを押す

[**HOT CUE (HOTCUE5-8)**] モードボタンが点灯し、ホットキューモードに切り換わります。

２ 再生中または一時停止中にパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のように各パッドに割り当てられています。

ホットキュー１	ホットキュー２	ホットキュー３	ホットキュー４

３ ホットキューポイントが設定されたパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

オートループを使う

トラックの BPM を基準に１拍、２拍、４拍および８拍のループを設定します。

１ [AUTO LOOP (ROLL)] モードボタンを押す

[**AUTO LOOP (ROLL)**] モードボタンが点灯し、オートループモードに切り換わります。

２ 再生中にパッドを押して、オートループをオンにする

オートループの拍は、以下のように各パッドに割り当てられています。

１拍	２拍	４拍	８拍

３ パッドをもう一度押して、オートループをオフにする

マニュアルループを使う

マニュアルループを設定します。

１ [MANUAL LOOP (CUE LOOP)] モードボタンを押す

[**MANUAL LOOP (CUE LOOP)**] モードボタンが点灯し、マニュアルループモードに切り換わります。

２ 再生中にパッド１を押して、ループインポイントを設定する

ループイン	ループアウト	ループ解除	ループの長さ調整

３ 再生中にパッド２を押して、ループアウトポイントを設定する

ループインポイントからループアウトポイントの間で、マニュアルループを開始します。

４ マニュアルループ再生中にパッド３を押して、マニュアルループを解除する

- マニュアルループ再生を解除したあと、再生中にパッド３を押すと、前回設定したループインポイントに戻り、マニュアルループ再生を再開します。

❖ マニュアルループの長さを変える

- マニュアルループ再生中にパッド４を押すと、パッドを押すたびにマニュアルループ再生の長さが半分に分割されます。
- マニュアルループ再生中に [**SHIFT**] ボタンを押しながらパッド４を押すと、パッドを押すたびにマニュアルループ再生の長さが倍に延長されます。

❖ マニュアルループの長さを微調整する

- マニュアルループ再生中にパッド１を押すと、ジョグダイヤルを使ってループインポイントを微調整できます。
  — もう一度パッド１を押すと、微調整モードを終了し、マニュアルループの再生に戻ります。
- マニュアルループ再生中にパッド２を押すと、ジョグダイヤルを使ってループアウトポイントを微調整できます。
  — もう一度パッド２を押すと、微調整モードを終了し、マニュアルループの再生に戻ります。

サンプラーを使う

サンプラーのサンプラースロットにロードされたトラックを、パッドで再生できます。

１ コンピューター画面上の [Samples] をクリックして、コンピューター画面上に [Samples] パネルを開く

２ [SAMPLER (BANK)] モードボタンを押す

[**SAMPLER (BANK)**] モードボタンが点灯し、サンプラーモードに切り換わります。

３ コンピューター画面のマウス操作でトラックをドラッグ & ドロップし、[Samples] パネルの各スロットに曲をロードする

サンプラーの設定とロードした楽曲が保存されます。

４ パッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

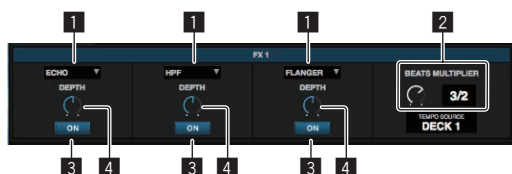
- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

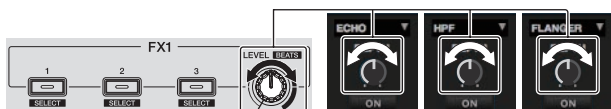
エフェクトを使う

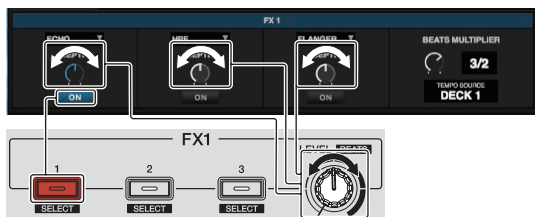
Serato DJ Intro には FX1 と FX2 の 2 つのエフェクトユニットがあります。それぞれのユニットで、エフェクトユニットあたり 3 つのエフェクトが選択できます。
エフェクトユニット FX1 はデッキ 1 に、エフェクトユニット FX2 はデッキ 2 に適用されます。

- デッキ 3 とデッキ 4 には、適用される FX はありません

Serato DJ Intro のエフェクトユニットの画面表示

コンピューター画面の [**DJ-FX**] をクリックすると、コンピューター画面上に [**DJ-FX**] パネルが表示されます。

1 エフェクトの種類が表示されます。
2 エフェクト時間が表示されます。
3 エフェクトのオン / オフが表示されます。
4 エフェクトのレベルが表示されます。

本機のエフェクトレベルツマミは、Serato DJ Intro の 3 つのエフェクトのレベルを同時にコントロールします。
本機を使って最大 3 つのエフェクトを、同時にコントロールできます。

エフェクトを操作する

ここでは、エフェクトユニット FX1 の 1 番目のエフェクトを操作する場合を例に説明します。
なお、本書で記載の手順は一例であり、これ以外の手順でも操作できます。

1 [SHIFT] ボタンを押しながらエフェクト 1 ボタンを押し、1 番目のエフェクトの種類を選ぶ

Serato DJ Intro の画面上に、エフェクトの種類が表示されます。

2 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

Serato DJ Intro の画面上の、3 つのエフェクトレベルツマミの位置が同時に動きます。

- エフェクトレベルツマミの位置は、個別には動かせません。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトレベルツマミを操作してエフェクト時間を調整する

- エフェクトレベルの調整とエフェクト時間の調整を交互に操作する場合は、Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と本機のエフェクトレベルツマミの位置を、一致させる必要があります。
  詳しくは、17 ページの「エフェクトレベルの調整とエフェクト時間の調整を交互に操作する」をご覧ください。

4 エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオンにする

Serato DJ Intro の画面上の 1 番目のエフェクトの [**ON**] ボタンが、ハイライトで表示されます。

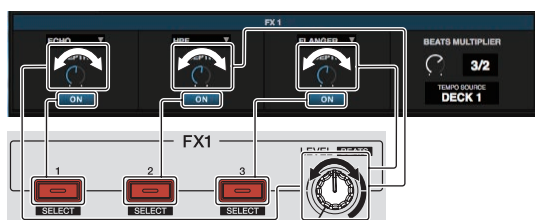
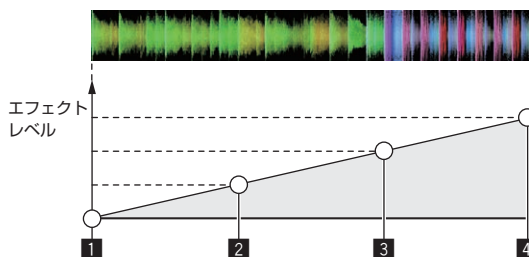
- エフェクトをオンにしたあとで、手順 2 や手順 3 を操作し、エフェクトレベルやエフェクト時間を調整することもできます。

5 エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオフする

3 つのエフェクトを同時に操作する

以下に示すように、同時に3つのエフェクトを操作する場合を例に説明します。
なお、本書で記載の手順は一例であり、これ以外の手順でも操作できます。

操作例

1 エフェクトレベルを 0 %(ツマミを左に回しきった状態)に設定する
1 番目のエフェクトをオンにする
2 エフェクトレベルを少しずつ上げながら、2 番目のエフェクトをオンにする
3 さらにエフェクトレベルを上げながら、3 番目のエフェクトをオンにする
4 エフェクトレベルを 100 %(ツマミを右に回しきった状態)まで上げる
最後に3つのエフェクトをすべてオフにする

1 エフェクトの種類を選ぶ

[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトの種類を選びます。
[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクト 2 ボタンを押して、2 番目のエフェクトの種類を選びます。
[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクト 3 ボタンを押して、3 番目のエフェクトの種類を選びます。

2 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

本操作例では、エフェクトレベルツマミを左に回しきった状態 (0 %) に設定します。

3 エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオンにする

1 番目のエフェクトが、オンの状態になります。

4 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルツマミを右に少しずつ回しながら、エフェクトレベルを上げていきます。
この操作では、1 番目のエフェクトだけ有効です。

5 エフェクト 2 ボタンを押して、2 番目のエフェクトをオンにする

1 番目のエフェクトと 2 番目のエフェクトが、同時にオンの状態になります。

6 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルツマミを、さらに右に少しずつ回しながら、エフェクトレベルを上げていきます。
この操作では、1 番目のエフェクトと 2 番目のエフェクトの両方が有効です。

7 エフェクト 3 ボタンを押して、3 番目のエフェクトをオンにする

3 つのエフェクトが、同時にオン状態になります。

8 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルツマミを、さらに右に少しずつ回しながら、エフェクトレベルを上げていきます。
この操作では、3 つのエフェクトすべてが有効です。

9 エフェクトをオフにする

エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオフにします。
エフェクト 2 ボタンを押して、2 番目のエフェクトをオフにします。
エフェクト 3 ボタンを押して、3 番目のエフェクトをオフにします。

- 複数のエフェクトをオンにするときは、それぞれのエフェクトレベルは同じになります。
  個別に調整することはできません。

エフェクトレベルの調整とエフェクト時間の調整を交互に操作する

以下に示すように、エフェクトレベルの調整とエフェクト時間の調整を交互に操作する場合を例に説明します。
なお、本書で記載の手順は一例であり、これ以外の手順でも操作できます。

操作例

1. エフェクトレベルを 0 % (ツマミを左に回しきった状態) から 100 % (ツマミを右に回しきった状態) へ調整する
2. エフェクト時間を [**1/1**] から [**1/2**] に調整する
3. エフェクトレベルを 100 % (ツマミを右に回しきった状態) から 50 % (ツマミをセンター位置に設定した状態) へ調整する

1 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルを 0 % (ツマミを左に回しきった状態) から 100 % (ツマミを右に回しきった状態) へ調整します。

- エフェクトレベル：0 % (ツマミを左に回しきった状態)

- エフェクトレベル：100 % (ツマミを右に回しきった状態)

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトレベルツマミを操作してエフェクト時間を調整する

エフェクト時間を [**1/1**] から [**1/2**] に調整します。
Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と本機のエフェクトレベルツマミの位置を、一致させる必要があります。

Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と、本機のエフェクトレベルツマミの位置が一致すると、エフェクト時間が調整できるようになります。

- エフェクト時間：[**1/2**]

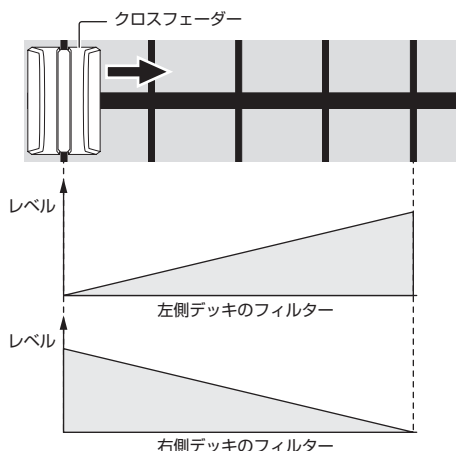
3 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルを 100 % (ツマミを右に回しきった状態) から 50 % (ツマミをセンター位置に設定した状態) へ調整します。
Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と本機のエフェクトレベルツマミの位置を、一致させる必要があります。

Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と、本機のエフェクトレベルツマミの位置が一致すると、エフェクト時間が調整できるようになります。

- エフェクトレベル:50 % (ツマミをセンター位置に設定した状態)

フィルターフェードを使う

フィルターフェードをオンに設定すると、クロスフェーダーの操作をしたときに、両方のデッキにフィルターの効果をかけながら、クロスフェーダーの操作ができます。
フィルター (HPF) の効果を変化させながらミックスするので、両方のデッキのトラックがスムーズにつながり、トラックのジャンルやテンポを気にせず簡単にミックスを楽しめます。
ここでは、クロスフェーダーを左端から右端へ操作し、左側デッキのトラックから右側デッキのトラックへミックスするときの動作を例に説明します。

- クロスフェーダーを左端から右方向へ操作すると、左側デッキのトラックはフィルター (HPF) の効果が、最小の状態から右端へ近づくにつれて、フィルター (HPF) の効果が、最大の状態へ変化します。
- クロスフェーダーを左端から右方向へ操作すると、右側デッキのトラックはフィルター (HPF) の効果が、最大の状態から右端へ近づくにつれて、フィルター (HPF) の効果が、最小の状態へ変化します。

1 左側デッキと右側デッキでトラックを再生する

2 [FILTER FADE ON] ボタンを押す
ボタンが点滅し、フィルターフェードをオンに設定します。
フィルターフェードをオンに設定しているときは、フィルターツマミの操作は無効です。

3 クロスフェーダーを左端から右端へ、または右端から左端へ動かす
左側デッキのトラックから右側デッキのトラックへミックスするときは、左端から右端へ動かします。
右側デッキのトラックから左側デッキのトラックへミックスするときは、右端から左端へ動かします。

4 もう一度、[FILTER FADE ON] ボタンを押す
ボタンが点灯し、フィルターフェードをオフに設定します。
フィルターフェードをオンに設定しているときに、フィルターツマミを操作したときは、フィルターフェードをオフに設定したときのフィルターツマミ位置が設定されます。

パッドトランスを使う

デッキにロードされているトラックの BPM の拍タイミングに連動して、音をカットする機能です。

1 [PAD TRANS (TAP)] ボタンを押す
パッドトランスモードになり、[**PAD TRANS (TAP)**] ボタンが点灯します。
パッドトランスの拍は、以下のように各パッドに割り当てられています。

1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍	1 拍

2 再生中にパッドを押し続ける
パッドを押し続けている間、拍タイミングに連動して音をカットします。
- パッドトランスモードはチャンネルフェーダーを一番下まで下げているときには動作しません。チャンネルフェーダーは上げた状態でお使いください。

3 パッドから指を放す
通常の再生に戻ります。
- パッドトランスモードを解除するときは、[**PAD TRANS (TAP)**] ボタンを押します。

パッドトランスモードのテンポを切り換える

パッドトランスモードには、テンポを設定する方法として、「オートテンポモード」と「マニュアルテンポモード」の 2 つのモードがあります。
- 初期状態はオートテンポモードに設定されています。

❖ オートテンポモード

トラックの BPM 値がテンポの基準となります。

❖ マニュアルテンポモード

トラックの BPM 値を、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、
[**PAD TRANS (TAP)**] ボタンを指でたたいた間隔から算出します。

❖ マニュアルテンポモードに切り換える

オートテンポモード中に、[SHIFT] ボタンを押しながら、[PAD TRANS (TAP)] ボタンを 3 回以上押す
- マニュアルテンポモード中に、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**PAD TRANS (TAP)**] ボタンを 1 秒以上押すと、オートテンポモードへ切り換わります。
- マニュアルテンポモードで設定した BPM 値は表示されません。

マイクの音声をミックスする

1 [MIC] 端子 (1/4” TS Jack) にマイクを接続する

2 システムを起動する
➲「システムを起動する」(p.12)

3 [MIC LEVEL] ツマミを回す
出力される音声レベルを調整します。
右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。
マイクの音声出力は、[**MASTER OUT**] 端子にのみ対応しています。

曲を解析する

本機の [**LOAD**] ボタンを押してデッキに曲をロードすると曲の解析が実行されますが、解析が終了するまで BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。
Serato DJ Intro ソフトウェアをオフラインプレーヤーとして使用すると、事前に曲を解析することができます。解析の終了している曲は、デッキに曲をロードしたあとすぐに BPM や波形が表示されるようになります。
Serato DJ Intro でのオフラインプレーヤーや曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- 楽曲の数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

ユーティリティーモード

以下の設定を変更することができます。
- チャンネルフェーダースタート設定
- デモモード設定
- ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔の設定

ユーティリティーモードを起動する

ＤＪアプリケーションを起動したままユーティリティーモードを起動させると、設定する状態が正しく表示されない場合があります。

1 コンピューター上のＤＪアプリケーションを終了させる

2 USB ケーブルを本体から抜く

本機の電源をオフにします。
- コンピューターに差してある USB ケーブルは、差したままにしてください。

3 左側デッキのパッド１ボタンとパッド４ボタンの両方を押しながら、USB ケーブルを本体に接続する

ユーティリティーモードが起動します。

4 ユーティリティーモードにしたあとで、設定を変更したい項目についてコントローラーを操作する

変更可能な設定については、以下の説明をご覧ください。

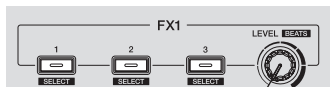
5 本機とコンピューターをつないでいる USB ケーブルを抜いて、設定を保存する

設定を保存するには、本機の電源をオフにする必要があります。

設定を変更する

チャンネルフェーダースタートの設定を変更する

チャンネルフェーダースタート機能の設定を変更できます。
- 初期設定は SYNC 設定なしのチャンネルフェーダースタートです。

ユーティリティーモードを起動して、左側デッキのエフェクトボタンのいずれかを押す

— エフェクト 1 ボタン点灯：SYNC 設定ありのチャンネルフェーダースタート (チャンネルフェーダースタート開始と同時に SYNC 機能が働きます。)
— エフェクト 2 ボタン点灯：SYNC 設定なしのチャンネルフェーダースタート (チャンネルフェーダースタート開始時に SYNC 機能は働きません。)
— エフェクト 3 ボタン点灯：チャンネルフェーダースタート機能は無効

デモモードを無効にする

本機は通常の使用状態で 10 分間何の操作もないとき、デモモードを実行しますが、このデモモードはオフにすることができます。
- 初期設定ではデモモードはオンです。
- デモモード中は本機のいずれかのツマミやボタンを操作すると、デモモードを解除できます。

ユーティリティーモードを起動して、左側の [**VINYL (SLIP)**] ボタンを押す

— [**VINYL (SLIP)**] ボタン点灯：デモモード 有効
— [**VINYL (SLIP)**] ボタン消灯：デモモード 無効

ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整する

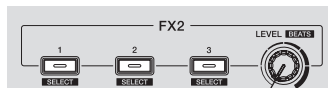
本機はジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整するモードを備えています。
本機から送信される、ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔が短い場合、お使いのコンピューターの OS やスペックによってはジョグダイヤルが正しく動作しないことがあります。そのような場合は以下の手順に従って MIDI メッセージの送信間隔を調整してください。
- MIDI メッセージの送信間隔は短い方の設定から、問題が起こらない長さまで上げてください。
- 初期設定は 3 ms です。

ユーティリティーモードを起動して、左側デッキの [SAMPLER (BANK)] モードボタンを押す

ボタンを押すたびに、MIDI メッセージの送信間隔の設定が変わります。パッド、[**▶/II**] ボタン、[**CUE** (**|◀**)] ボタン、[**SYNC (OFF)**] ボタンおよび [**SHIFT**] ボタンの点灯により現在の設定値がわかります。

バックスピンレングスを切り換える

本機はジョグダイヤルをバックスピン操作した際、実際のジョグダイヤルの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。
バックスピンの長さは、ショート / ノーマル / ロングの 3 種類から選択できます。
- 初期設定は、バックスピンレングス ノーマルです。

ユーティリティーモードを起動して、右側デッキのエフェクトボタンのいずれかを押す

— エフェクト 1 ボタンが点灯 : バックスピンレングス ショート
— エフェクト 2 ボタンが点灯 : バックスピンレングス ノーマル
— エフェクト 3 ボタンが点灯 : バックスピンレングス ロング

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サイトへアクセスして、[**DDJ-SB2**] の [**FAQ**] を確認してください。
  http://www.pioneerdj.com/
  また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、22 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	接続されているコンピューターの USB ポートからの給電が不足していませんか？	十分な給電ができる USB ポートに接続してください。
		DJ プレイに使用しない機器が別の USB ポートに接続されている場合は、それらも抜いて電力を確保してください。
		接続先のコンピューターをバッテリーで駆動させずに、AC 電源から電源供給を行ってみてください。
本機が認識されない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	ドライバーソフトウェアは正しく設定されていますか？ (Windows)	ドライバーソフトウェアを正しく設定してください。 (Mac (OS X) ではドライバーソフトウェアは必要ありません。) (3 ページ)
	Serato DJ Intro ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？	最新のソフトウェアにアップデートしてください。
ライブラリーパネルにトラックが表示されない。	音楽ファイルをインポートしていますか？	音楽ファイルをインポートしてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
ライブラリーパネルに iTunes の曲が表示されない。	[**SETUP**] メニューの中の [**Show iTunes Library**] にチェックが入っていますか？	[**Show iTunes Library**] にチェックを入れてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
音が出ない、または音が小さい。	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [**MASTER LEVEL**] ツマミを正しい位置に設定してください。また、デッキを切り換えたときに、Serato DJ Intro で制御されている値と、本機のツマミやフェーダーの位置が異なっている場合、ツマミやフェーダーは Serato DJ Intro で制御されている値まで動かさないと操作できません。 (7 ページ)
	接続しているパワーアンプやパワードスピーカーなどは正しく設定されていますか？	パワーアンプやパワードスピーカーなどの外部入力の切り換えや音量を正しく設定してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	ドライバーソフトウェアは正しく設定されていますか？ (Windows)	ドライバーソフトウェアを正しく設定してください。 (Mac (OS X) ではドライバーソフトウェアは必要ありません。) (3 ページ)
パッドトランスモードが動作しない。	チャンネルフェーダーを一番下まで下げていませんか？	パッドトランスモードは、チャンネルフェーダーを一番下まで下げているときには動作しません。 チャンネルフェーダーは、上げた状態でお使いください。
ジョグダイヤルの回転が止まったあとも、トラックの再生位置が回転していた方向に進むときがある。	ユーティリティーモードのバックスピンレングスの設定が、スタンダードまたはロングに設定されていませんか？	ユーティリティーモードのバックスピンレングスの設定をショートにしてください。ジョグダイヤルの回転が止まると、その位置で一時停止、またはその位置から通常再生が始まります。
音がひずむ。	[**TRIM**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターが、ピークレベルで点灯するように、[**TRIM**] ツマミを調整してください。
	[**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	接続する機器に合わせて、[**MASTER LEVEL**] ツマミを調整してください。
	[**MIC**] 端子 (1/4” TS Jack) に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？	接続する機器に合わせて各端子に入力される音声レベルを適切に設定してください。
DJ ソフトウェアを使っているとき再生中の音声がとぎれる。	ドライバーソフトウェアのレイテンシーの値は適切ですか？	ドライバーソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。
		DJ ソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。
ASIO ドライバーを設定すると音がとぎれる。	Serato DJ Intro を起動したまま ASIO ドライバーを設定していませんか？	ASIO ドライバーは Serato DJ Intro を起動する前に設定してください。 (6 ページ)
インジケーターが点滅して動作がおかしくなった。	−	付属の USB ケーブルを一度抜いて 1 分以上たってから再び差し込むことで正常に動作することがあります。 それでも同じ症状が現れるときは、USB ケーブルを抜いてから修理を依頼してください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
[FILTER] ツマミを操作しても、音色が変化しない。	フィルターフェード機能がオンになっていませんか？ フィルターフェード機能がオンになっているときは、[FILTER] ツマミを操作しても、音色は変わりません。	フィルターフェード機能をオフにしてください。
Serato DJ Intro の動作が不安定になる。	ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？	Serato DJ Intro の無料アップデートをウェブサイトよりダウンロードできます。最新のバージョンをご利用ください。（4 ページ）
	Serato DJ Intro以外のソフトウェアを同時使用していませんか？	コンピューターの負荷を減らすために、他のアプリケーションを終了してください。 それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウィルス対策ソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。
	コンピューターに他の USB 機器を接続していませんか？	他の USB 機器をコンピューターから外してください。 他の USB オーディオデバイスと同時にコンピューターに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	本機が接続されている USB 端子に不具合がある。	お使いのコンピューターに複数の USB 端子がある場合は、別の USB 端子に接続してみてください。
	バッテリー駆動させているノートブック型コンピューターに接続していませんか？	ノートブック型コンピューターにコンセントから電源供給してください。 （ノートブック型コンピューターの設定によっては、バッテリー駆動中に省電力にするため、コンピューター自体のパフォーマンスを自動的に落とす場合があります。）
	USB のバッファーサイズが小さい。	USB バッファーサイズを上げてみてください。（6 ページ）
BPM が表示されない。 SYNC 機能、オートループ機能が動作しない。	曲が解析されていますか？	曲を解析してください。
	オフラインプレーヤーの設定で [Set Auto BPM] にチェックが入っていますか？	[Set Auto BPM] にチェックを入れた状態で再度、曲を解析してください。 曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
BPM が正しく表示されていない。	オフラインプレーヤーの設定で BPM 解析範囲は適切に設定されていますか？	BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は、手動で BPM を設定してください。
Serato DJ Intro 画面が、4 デッキ表示にならない。	Serato DJ Intro 画面の設定を確認してください。	Serato DJ Intro 画面左上の [4-Deck Vertical Display Mode] アイコンをクリックしてください。（12 ページ）

マニュアルを入手する

各説明書は PDF 形式のファイルで作成されている場合があります。PDF 形式のファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® をインストールする必要があります。

最新版の取扱説明書を閲覧する

1 コンピューターでウェブブラウザーを起動し、下記の Pioneer DJ サイトにアクセスする

http://www.pioneerdj.com/

- 画面を日本語表示に切り換えるには、画面を下にスクロールさせ、画面右下の［EN］の表示をクリックし、［JA］を選択してください。

2 [Support] アイコンをクリックする

3 [チュートリアル、マニュアル& ドキュメント] アイコンをクリックする

4 [CONTROLLER] カテゴリー内の [DDJ-SB2] アイコンをクリックする

5 ダウンロードページの中から必要な言語をクリックする

ダウンロードできますので、必要に応じてダウンロードしてください。

Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをダウンロードする

1 Serato サイトにアクセスする

http://serato.com/

2 [DJ PRODUCTS] の [Serato DJ Intro] アイコンをクリックする

3 [Download SERATO DJ INTRO] アイコンをクリックする

4 [Manuals and Quickstart Guides] アイコンをクリックする

5 必要な言語の Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをクリックする

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
Serato DJ Introソフトウェア以外のDJソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときは、DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定もしてください。

- 詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDI メッセージについて

本機の MIDI メッセージについては、「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDI メッセージ一覧」は下記の URL より入手できます。
  http://www.pioneerdj.com/

ドライバーソフトウェアについて (Windows)

本ドライバーソフトウェアは、コンピューターからの音声を、本機のオーディオ端子から出力するための本機専用の ASIO ドライバーです。

- Mac (OS X) をお使いのときは、ドライバーソフトウェアをインストールする必要はありません。
- はじめに 22 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

動作環境

対応 OS		
Windows® 8.1/8、Windows® 8.1/8 Pro	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]
Windows® 7 Home Premium/Professional/ Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]

[1] 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバーソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

ドライバーソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバーソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サイトを参照してください。
http://www.pioneerdj.com/

インストール手順について

- 操作手順は「インストール手順 (Windows)」を参照してください。

❖ ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様と Pioneer DJ 株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。
本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をお止め下さい。

(使用許諾)
本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル･コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

(制限事項)
お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース･エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)
本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)
本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)
当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失･毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(輸出規制法令の遵守)
お客様は、アメリカ合衆国の法令及び本ソフトウェアを取得された国の法令が認めている場合を除き、本ソフトウェアを使用または輸出もしくは再輸出することはできません。また、本ソフトウェアを、次のいずれの者に対しても、輸出または再輸出することはできません。
(a) アメリカ合衆国の通商禁止国
(b) アメリカ合衆国財務省の禁止顧客リスト (Specially Designated Nationals List) 上の一切の者、及びアメリカ合衆国商務省の禁止顧客リスト (Denied Person’s List or Entity List) 上の一切の者
お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、上記 (a) に該当する国に居住しておらず、また、上記 (b) のリストに掲載されていないことを表明および保証するものとします。また、お客様は、本ソフトウェアをアメリカ合衆国の法令にて禁止されるいかなる目的 (核兵器、ミサイル、化学兵器、または細菌兵器を含みますが、これに限定されません) にも使用しないことに同意されたものとします。

(準拠法)
本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみに適用されます。

修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (取扱説明書 (クイックスタートガイド) の裏表紙に記載)

保証書は必ず「販売店名･購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。
保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書 (レシート、納品書、受注メールなど) が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 20 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず USB ケーブルを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ コントローラー
- 型番：DDJ-SB2
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- 「Pioneer DJ」は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Mac、OS X、および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel および Intel Core は、米国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- Serato DJ Intro、Scratch Live、ITCH、Serato DJ は、Serato Audio Research Ltd 社の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での (収益の発生するような) 、実際の放送 (地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送) 、インターネットやイントラネット (企業内ネット) あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム (音楽の有料配信など) のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

— 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

<DRJ1037-A>